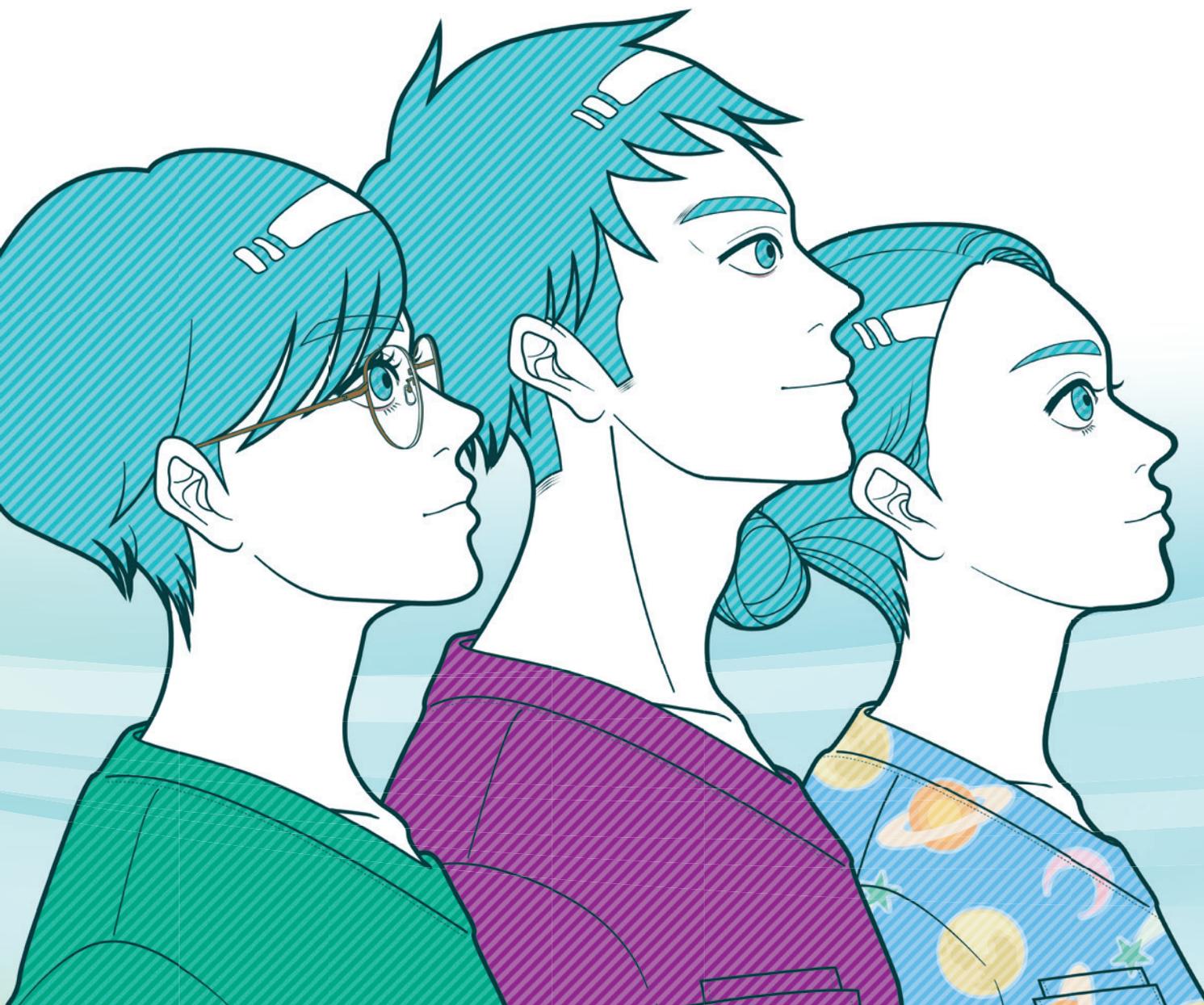


キャリアは
そのまま
私の人生になる。



筑波大学附属病院看護部 募集要項 2025

つくばナース

私が私らしく
それがつくばナースの
看護スタイル。



期待する看護師像

つくばナースがめざすのは

「思考する看護師」

思考しながら看護と向き合える、そんな看護職を育成しています

- 健康のあらゆるレベルに対応し、科学的理論の裏付けをもって効果的な看護サービスを提供する
- 問題解決法を用い、マネジメント能力を高める
- 社会、医療の変化に柔軟に対応し、大学病院がめざす看護の役割を果たす
- 自己理解・他者理解を深め、リーダーシップ・メンバーシップを発揮し、協働する
- 専門職として自己を高め、教育研究活動に参加する

つくばナース

青は「知性」、赤は「情熱」、緑は「誠実」を表しています。柔らかな曲線は「羽」。飛躍のイメージです。自由な思想と発想をもち、自ら積極的にネットワークを広げていく。そんなつくばナースを表現しています。

つくばナースはここが違う！

大学の附属病院である

単一キャンパスで国内第2位の広さを誇る筑波大学。当院はその筑波キャンパス敷地内にあります。大学附属という特性を活かし、高度医療の経験を積みながら、学術面のスキルアップをめざすことができます。

教育体制が充実している

最先端の急性期医療の現場で必要とされる看護を提供できるよう、専門職性と倫理観を備え、看護の発展に貢献する人材育成をめざしています。新人からキャリア支援を意識した教育に取り組んでいます。

高度医療から地域医療まで幅広く経験できる

大学病院として臨床・研究・育成を行う当院は、地域の中核病院であり、高度先進医療を担う特定機能病院でもあります。高度医療から地域医療まで幅広い症例が経験できます。



つくばナースがめざすのは「思考する看護師」。サイエンスとアートを兼ね備えた看護師です。

副病院長・看護部長 認定看護管理者 h-MBA 篠崎 まゆみ



ナイチンゲールは「看護はサイエンスであり、アートである」と述べています。看護は、ロジカルに現象を捉え、数値やデータで判断するサイエンス的な力と、それでは見えない患者さんの想いや心の機微を感じ取るアートの力が必要です。看護は、提供側である看護職の感受性や直感、想像性や創造性に依存します。

私たち、つくばナースが目指すのは、「思考する看護師」です。高い感受性を持ち創造性を働かせ、看護を提供することのできる看護職です。患者さんの病状をエビデンスをもってアセスメントし、的確に対応できる力と、患者さんや家族の想いや今後の暮らしを想像し、共感し、一緒に悩み、解決策を見出すことのできる力、まさにサイエンスとアートを兼ね備えた看護職、それがつくばナースです。皆さんもつくばナースの一員として、私たちと一緒に明日の看護を創造しませんか。

つくばナースの教育

教育理念

専門職性と倫理観を備え、ヘルスプロモーションの視点でケアマネジメントができ、看護の発展に貢献する人材を育成します

教育方針

- ① 看護の専門職として、豊かな知性と技術、倫理的人間力、自律性を身につけ、理論と看護実践を統合し、エビデンスに基づいた質の高い看護を実践できる能力を育成する
- ② 社会のニーズに応えられる専門職業人として、個々の能力の発揮を重視し、実践力、教育力、マネジメント力を統合した能力開発によって創造性のある看護職を育成する

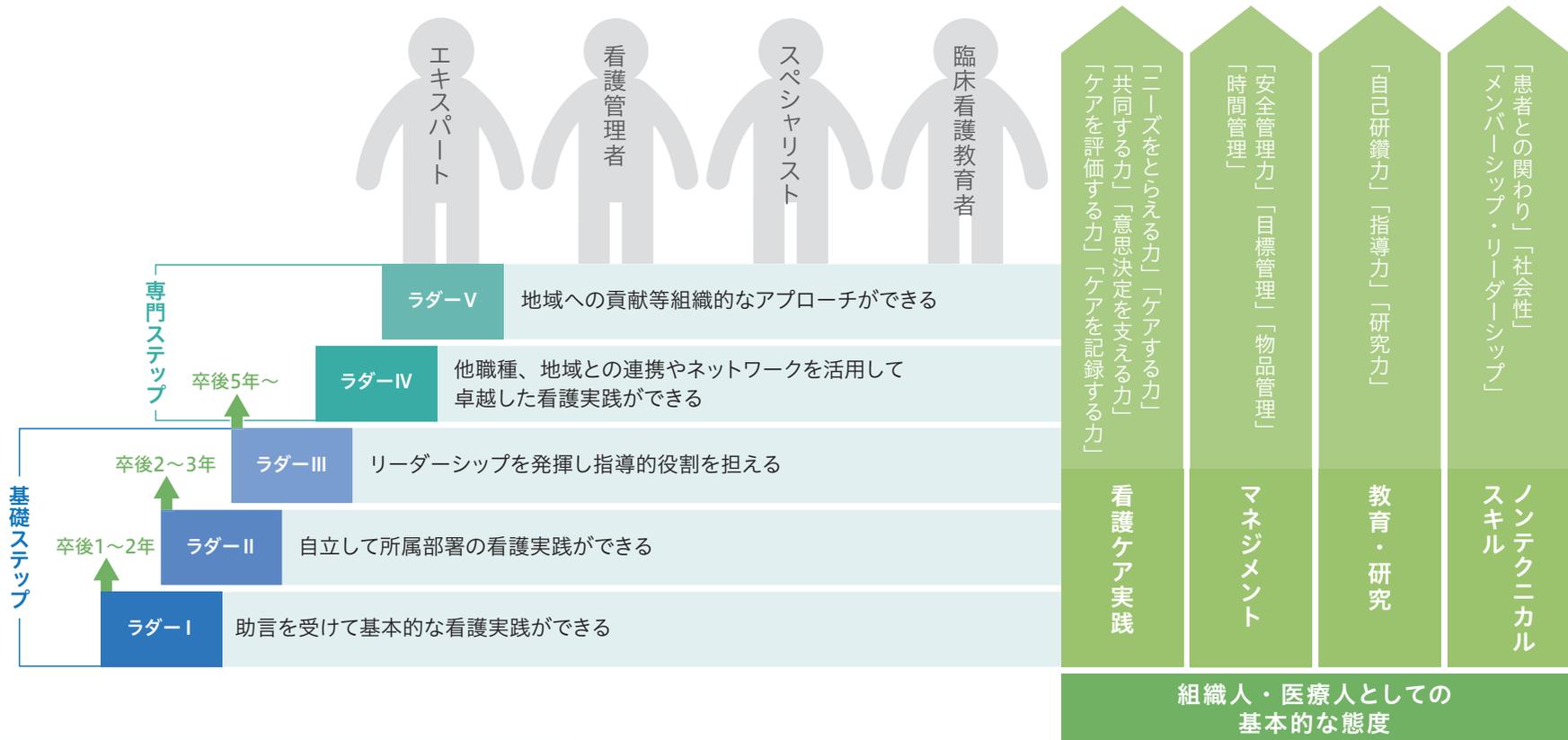
教育目的

- ① 看護の専門職性の向上を重視し、看護倫理に基づいた行動がとれるように人間性豊かな感性を育む
- ② 科学的根拠に基づいた看護実践力を育成する
- ③ キャリア開発プログラムと目標管理による能力開発を促進することで、専門職として主体性・自立性を持ちチームを育成・発展させながら質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する
- ④ 一人ひとりの看護職の学習を支援することで、時代や社会の変化に対応できる人材を育成する

詳しくは
次のページへ！



一人ひとりを成長へ導くエンカレッジ(勇気づけ、励ます)システム。自ら考え、自ら学び、課題へチャレンジしてステップアップ。当院のキャリアラダーは、組織人・医療人としての基本的な態度を備えていることを前提とし、看護の専門職として必要とされる4つの領域の能力を重視した人材育成と仕事を通した自己成長を活かすシステムです。ラダーごとの到達目標達成をサポートするための研修を実施します。



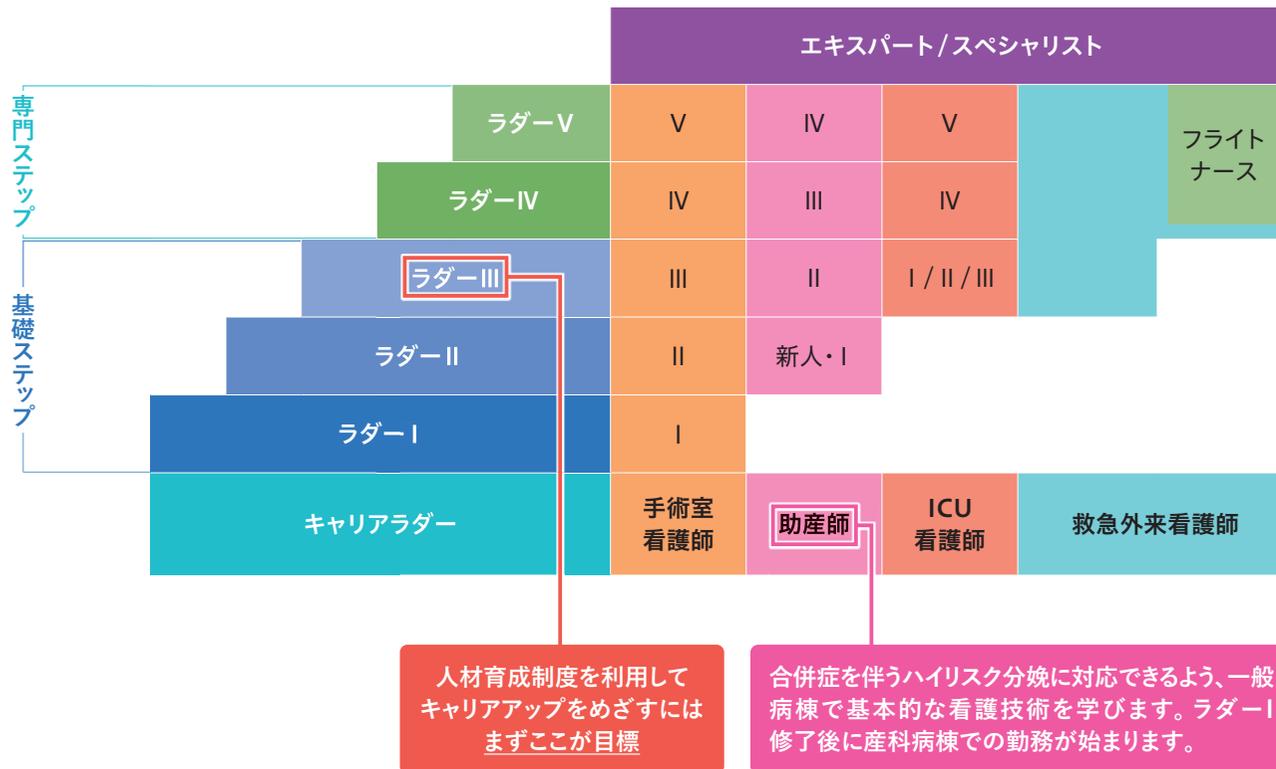
新人集合研修と勤務の目安(2024年度)



業…業務の目安 研…集合研修 面…面接 技…技術チェック

キャリアラダーと部門教育の相関

看護部キャリアラダーをベースに部門毎のラダーを併用することで、一人ひとりの看護職の学習を支援し、時代や社会の変化に対応できる人材を育成します。



9月	10月	11月	12月	1月	2・3月
<ul style="list-style-type: none"> 研 心肺蘇生研修 面 6ヶ月面接 技 中間チェック 	<ul style="list-style-type: none"> 業 自立度に合わせてリーダーナースのフォローで、日勤は病棟の業務計画に沿った部屋の受け持ち、夜勤は1チームの受け持ちをめざす 	<ul style="list-style-type: none"> 研 専門研修④ / リフレクション 	<ul style="list-style-type: none"> 業 自立して夜勤1チームの受け持ちをめざす 技 最終チェック 	<ul style="list-style-type: none"> 業 病棟の業務計画に沿った部屋の受け持ちが、自立して行える 面 ラダー面接 	

当院の看護教育は、病棟で行うOJT(on-the-job training)と看護部で行う集合研修があります。それぞれの役割を持ったスタッフが連携し、新人看護職員が自ら成長していく過程を支援します。

知識と技術を習得 集合研修

看護部教育担当者が、看護業務の円滑な遂行を支援する目的で、職場を離れて対象の方を集めて実施します。



e-learningは
個人のスマホでいつでも
学習できるのよ!



自分のペースで学ぶ 自己学習

e-learningを中心に学習を進めます。医学図書館の書籍や教材を利用したり、シミュレーターを用いてトレーニングすることもできます。



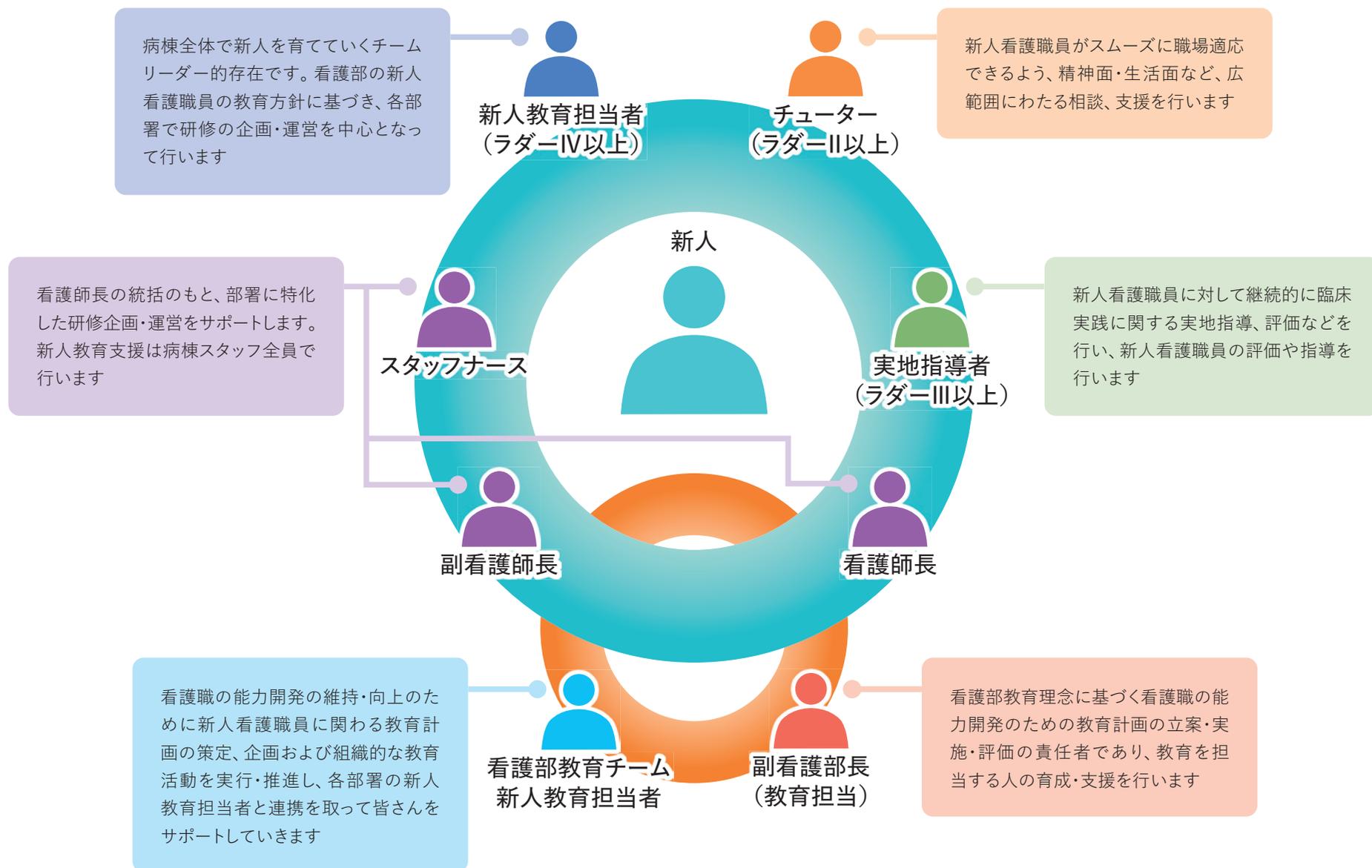
現場で学ぶOJT

新人教育担当者、実地指導者が中心となり、部署の看護に必要な業務や業務に関連する技術など、部署の職務を遂行するための教育・訓練を病棟全体で継続的に支援していきます。



新人教育支援体制図と各担当者の役割

新人看護職員が臨床現場で社会人としての自覚を持ち、臨床現場に順応しながら臨床実践能力を獲得するために、病棟スタッフみんなで皆さんのサポートを行います。



研修休業制度

職務遂行上の資質能力を向上させるため、当該職員の職務に関連があると認められる学術に関する事項の調査、研究または指導に従事する目的で、2年を超えない期間を定めて休業とすることができます(条件・選考があります)。

人材育成支援助成制度

チーム医療や役割分担等の推進を図るために行う資格取得、資格更新、専門職としての資質担保のための研修会参加等への支援を行っています(条件・選考があります)。

研究担当者による支援

臨床の課題を症例報告や実践報告として学会発表につなげられるよう支援しています。院内での発表課題を設定し、文献活用および倫理的に伝える経験ができるよう、キャリアラダープログラムを整えています。本格的な研究に取り組むときや、大学院への進学相談にも対応しています。



働きながら学べるのは大きな魅力よね。

教育施設

スキルスラボ

シミュレーターを使った技術トレーニングができる「スキルスラボ(臨床技能実習室)」を完備しています。



図書館

筑波大学附属図書館は、中央図書館と4つの専門図書館に分かれており、すべて自由に利用することができます。



「人材育成支援制度を利用しました」

感染制御部
菅原さん



病棟での経験から、感染対策の学びを深め専門的な知識を習得したいと考え、資格取得のために教育機関で学びました。卒業後は、感染制御部に配属され、病棟スタッフの時とは違った視点で、患者さんが安全で安心して治療ができるよう、院内の感染管理に取り組んでいます。

「研究担当者の支援を受けました」

高度救命救急センター(ICU)
瀬端さん



研究的視点を持って看護を振り返り、さらに展開する中で、自分が看護師として大事にしたいこと、してきたことに立ち帰ることができました。これからも自分の強みを生かして看護を提供していきたいと思っています。

「図書館を活用しています」

高度救命救急センター(ER)
興津さん



医学図書館は医学系の書籍や雑誌、視覚教材が揃っていて、文献の取り寄せもできます。夜は22時まで開いているため、仕事終わりにその日気になったことを調べたり復習したりするのに利用しています。院内からも筑波大学附属図書館のサービスをオンラインで利用することができます。

専門看護師・認定看護師・特定看護師

看護職として5年以上の経験を積んだ後、専門看護師・認定看護師・特定看護師として、特定の領域で専門性を高めて活躍することもできます(条件・選考があります)。

専門看護師

小児看護	1名	急性・重症患者看護	3名
精神看護	1名	がん看護	1名
慢性疾患看護	2名		

認定看護師

認知症看護	1名	糖尿病看護	1名
がん性疼痛看護	1名	乳がん看護	1名
感染管理	2名	脳卒中リハビリテーション看護	1名
緩和ケア	3名	皮膚・排泄ケア	2名
手術看護	1名	がん薬物療法看護	1名
クリティカルケア	4名	認定看護管理者	6名
摂食・嚥下障害看護	1名		

特定看護師

呼吸器(気道確保に係るもの)関連	6名	創傷管理関連	4名
呼吸(人工呼吸療法に係るもの)関連	16名	創部ドレーン管理関連	4名
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	4名	動脈血液ガス分析関連	9名
循環器関連	1名	透析管理関連	2名
胸腔ドレーン管理関連	2名	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	13名
腹腔ドレーン管理関連	3名	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	2名
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	4名	術後疼痛管理関連	7名
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	4名	循環動態に係る薬剤投与関連	4名
		精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	5名
		救急領域	1名

2024年12月1日 現在



がん薬物療法看護認定看護師
岡田 さん

がんと闘う患者さんやご家族のために、もっとできることがあると思い認定看護師になりました。一般病棟で婦人科がんや泌尿器がん、血液腫瘍を経験し、現在は外来化学療法室で勤務しています。がん薬物療法の領域は幅広く、より良いケアが提供できるよう多職種で連携し、患者さんが安心して納得した治療を安全に受けられるよう、セルフケア支援や意思決定支援などに介入しています。また、日常的に抗がん薬を取り扱う看護師が、安心して安全に働ける環境づくりに取り組んでいます。



特定看護師
野口 さん

外科術後病棟管理領域の区分を修了し、主に動脈血採血、末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入、人工呼吸器の設定の変更を行っています。医師と連携することで、知識や技術のサポートを受けながら安全でタイムリーな対応を行うことができます。患者さんにとって身近な存在である私たちが特定行為を行うことで、安心して治療が受けられるようサポートしています。



特定看護師
山崎 さん

糖尿病療養指導士として日々患者さんに接するうちに、病態を正しく理解し、血糖値改善のための治療について理解を深めたいと考え、血糖コントロールに係る薬剤投与関連の区分を取得しました。特定行為研修で学んだ、医師の視点でのタイムリーな治療介入は安全で質の高い医療を提供でき、患者さんの安心にもつながります。患者さんの気持ちに寄り添いつつ継続した治療が行えるようサポートしていくことを心がけています。





膠原病・リウマチ・
アレルギー内科／
内分泌・代謝・糖尿病内科
笠間 さん

私は助産師として働く前に看護技術の基礎を身に付けるため1年間一般病棟で勤務しています。代謝内科で糖尿病の患者さんに生活指導や血糖値管理をサポートしながら私自身も多くのことを学んでいます。次年度、産科病棟へ異動になった際には、妊産婦さんへこの学びを活かしているよう多くのことを吸収していきたいと思います。



小児総合医療センター
澤邊 さん

小児病棟では、内科から外科までさまざまな疾患のお子さんが入院しており、成人病棟とは違った幅広い知識が必要とされています。お子さんの将来を考えながら看護していく難しさもありますが、とても勉強になります。子どもたちの笑顔を見ると自分も元気になり、日々の励みになっています。



整形外科／
救急・集中治療科／
感染症内科
瀬高 さん

整形外科、救急・集中治療科、感染症内科の病棟で勤務し、周手術期の看護を行っています。術後は動けない患者さんも多く、大変な時もありますが、患者さんが徐々に動けるようになっていく様子を見ると、とてもやりがいを感じます。初めは不安でいっぱいでしたが、先輩方が親身になって相談にのってくださり、とても良い環境で仕事ができていると日々感じています。



眼科／消化器内科
千葉 さん

眼科と消化器内科の混合病棟で勤務しています。手術や内視鏡による検査・治療を受ける患者さんが多く、患者さんやご家族が安心して治療に臨めるよう、そして一人ひとりの生活状況をふまえて退院後もセルフケアができるよう支援しています。先輩方に支えられながら、協力して日々看護に取り組んでいます。



総合周産期
母子医療センター(GCU)
鈴木 さん

幼い頃からの小児科看護師になるという夢が叶いGCUに配属になりました。知識・技術不足を感じることもありますが、先輩方に支えられながら日々小さな命と向き合っています。赤ちゃんのお世話はもちろん、ご家族が安心して退院後の生活を送ることができるよう関わっています。ご家族と赤ちゃんの笑顔を見ていると心が温かくなり、改めて看護師になって良かったと思います。



けやき棟手術室
入谷 さん

けやき棟手術室では、手術を受ける患者さんに対するケアや、手術が安全にかつ円滑に進むよう、多職種との連携を大切にしながら、器械出しや外回り業務等の看護の役割を担っています。新人看護師として日々学ぶことがたくさんありますが、先輩方から丁寧な指導を受けながら、経験を積み重ねることで、自身の成長が実感できる環境です。



総合周産期
母子医療センター(産科)
米川 さん

私は入職後1年間一般病棟で勤務し、産科病棟に配属になりました。一般病棟では基礎的な看護技術や知識、患者さんとの関わり方を学ぶことができ、それが産科でも活かされています。今年はバースセンターがB棟6階に開設され産科の病床数も増え、助産師としての活躍の場が広がったことで、やりがいを感じています。



泌尿器科／整形外科／
歯科・口腔外科
高野 さん

急性期から終末期までさまざまな患者さんが入院しています。そのため、周手術期の全身管理、抗がん剤の投与・有害事象の観察、ストーマケアなど幅広い知識や技術を身につけることができます。大変なこともあります。先輩方と共に協力しながら日々看護に取り組んでいます。忙しい病棟ではありますが、とてもやりがいを感じています。



血液内科
達 さん

血液内科病棟は、化学療法や造血幹細胞移植などさまざまな治療を行っています。抗がん剤や輸血の投与にあたり、全身状態の観察や病状管理・患者指導が必要となり、多くの知識や技術を身につける事ができます。大変なこともあります。先輩方と共にチームの一員としてやりがいを持って働いています。



脳神経外科／脳卒中科／
救急・集中治療科
船見 さん

脳神経外科、脳卒中科、救急・集中治療科の病棟では意識障害や運動麻痺、言語障害のある患者さんが入院しています。移乗動作や排泄介助など、看護師の介助を必要とする患者さんが多く大変なこともあります。頼れる先輩やスタッフがたくさんいるので心強く、安心して働く事ができます。



高度救命救急センター
(HCU)
佐賀 さん

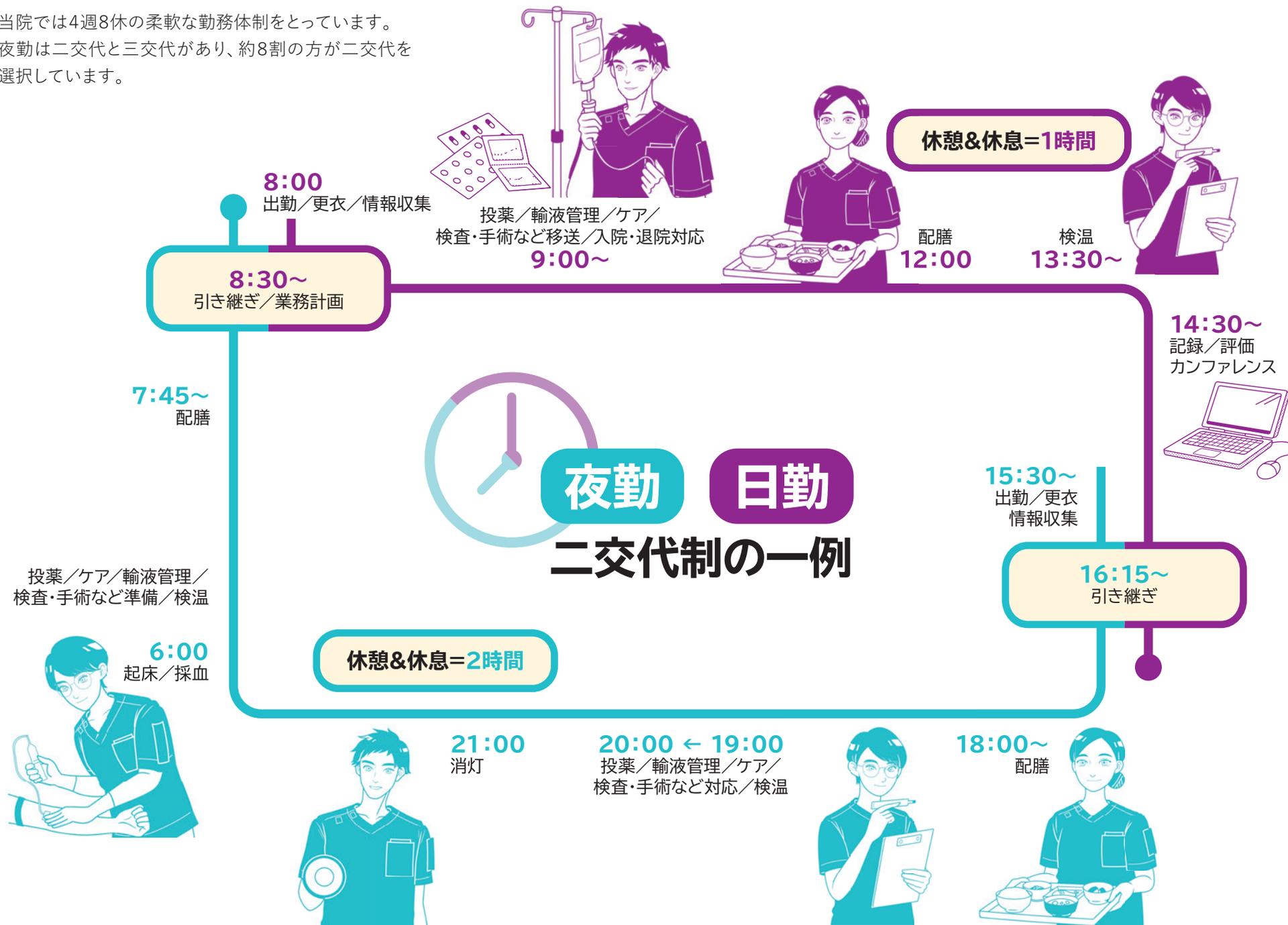
HCUは一般病棟とICUの中間にあたり、重症化や急変のリスクの高い患者さんが入院する病棟です。重症患者さんを受け持つため緊張の毎日ですが、その分、多くの学びを得ることができています。さまざまな疾患に向き合い、医療チームの一員として成長できる環境で、日々やりがいを感じながら働いています。



呼吸器内科／小児外科／
外科系小児
高野 さん

呼吸器内科の病棟で勤務しています。今年度から新たに小児病床も加わりました。小児看護は成人と違った知識や技術が必要になり大変なこともあります。2年目になりできることも増え、看護の楽しさも感じています。これからも学び続ける意欲を大切に、患者さん一人ひとりに向かった看護をしていきたいです。

当院では4週8休の柔軟な勤務体制をとっています。
夜勤は二交代と三交代があり、約8割の方が二交代を選択しています。





NICUでは新生児の発達に合わせた専門的な看護を提供しています。



小児ICUでは高度医療を必要とする未来ある子どもとその家族を支援します。



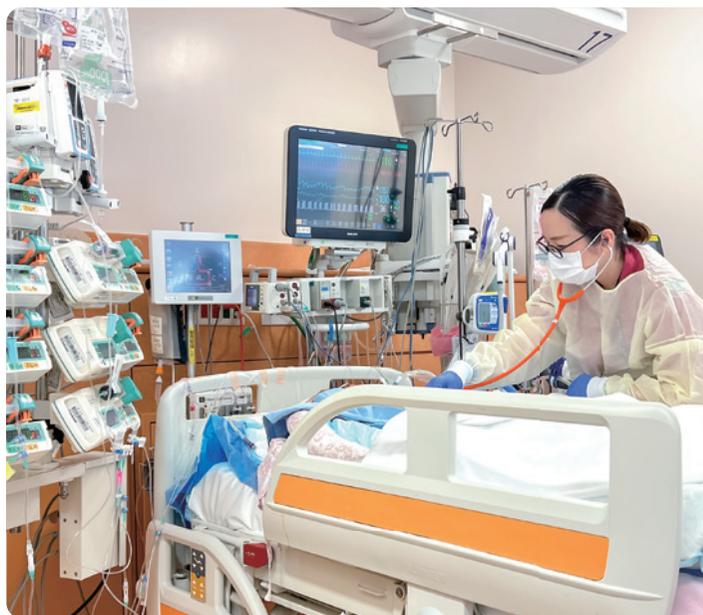
クリティカルケア認定看護師はRST/RRT*の一人として活動しています。



DMAT(災害派遣医療チーム)は被災病院や既に活動している関係者を支援します。



救急外来では、県内外から重症患者を受け入れています。



茨城県初の高度救命救急センターに認定されており、多くの救急患者さんを受け入れています。

専門領域ごとに専任スタッフが治療やケアを行うセンター体制を整え、より細やかな医療を提供しています。また、地域の基幹病院として、院外にも活動の場を広げています。



DPAT(災害派遣精神医療チーム)は大規模災害の被災者を精神面でケアします。



手術室はけやき棟手術室と第2手術室があり、年間1万件以上の手術を実施しています。



フライトナースは遠方の患者さんに対し、迅速に医療・看護を提供しています。



総合周産期母子医療センターでは専属の助産師が妊娠・出産をサポートしています。



小児総合医療センターは、子どもたちの成長発達や家族看護も支援しています。



医療連携患者相談センターは、退院後の生活や保険制度、経済面などの相談に応じしています。



地域のスポーツイベントでも積極的にボランティア活動をしています。

*RST:Respiratory care Support Team RRT:Rapid Response Team

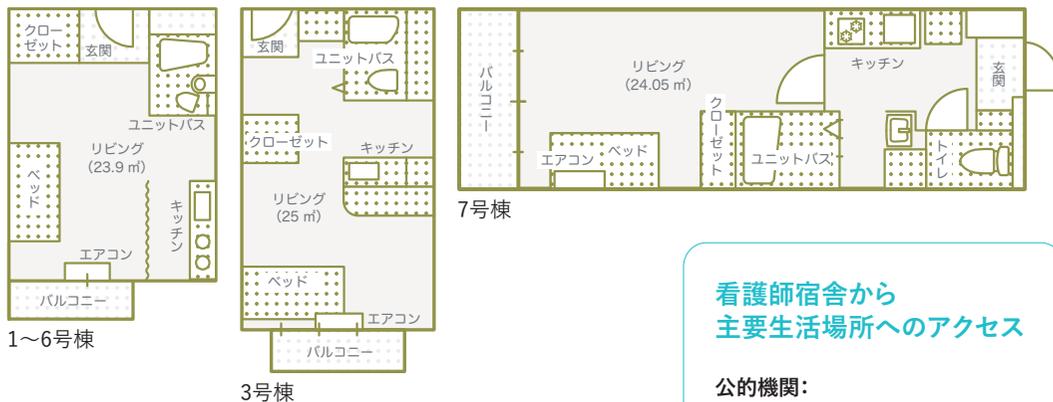
子育て支援



育児復帰支援担当者が、仕事と子育ての両立をはかりながら働き続けられるイメージが持てるよう支援しています。仕事復帰に向けた育児環境と働く環境整備について妊娠期から相談に応じ、育児休業取得後もスムーズに職場復帰できるよう、専従のコーディネーターによるカウンセリングなどを行っています。復職後は育児制度を利用しながら自身のキャリアを継続することが可能です。

宿舎

冷暖房完備のワンルームマンションタイプです(図は各棟の間取りの例)。宿舎は緑豊かなキャンパス内にあり、季節ごとの自然が楽しめます。



看護師宿舎から 主要生活場所へのアクセス

- 公的機関:**
市役所 (3.0km) 警察署 (3.0km)
郵便局 (1.9km)
- ショッピング:**
学内スーパーカスミ (1.2km)
イーアスつくば (2.7km)
コストコ (3.0km)
つくばイオン (7.6km)



「子育て支援制度でキャリアを継続」

高度救命救急センター (ER)
大里さん

第2子の育児休業後に部分休業を利用し救急外来に復帰しました。子どもの成長に合わせて休業時間を短縮し、家族の協力を得ながら夜勤業務やフライトナースとしてのキャリアを積むことができています。

育児でキャリアが途絶えることのないようにアドバイスしてもらえるよ。



「豊かな生活環境で公私ともに充実」

総合周産期母子医療センター (NICU)
小澤さん

病院までは徒歩5分。宿舎は、緑豊かなキャンパス内にあり、季節ごとの自然を楽しむことができます。都内へのアクセスも良いため、休日などは快適に過ごすことができています。

茨城県南部に位置する学術・研究都市、つくば。「西の富士、東の筑波」といわれる筑波山を遠くに臨み、最先端技術と緑にあふれています。国内外から多くの研究者が集まる国際都市である一方、里山や古民家、四季折々の自然を楽しむ人々が訪れる観光スポットでもあります。



▶自然やアウトドアを楽しめるスポットがいっぱい！

アウトドア派には、ハンググライダーやサイクリング、登山。インドア派には地元で採れるオーガニック野菜が楽しめるカフェ。オフタイムを癒してくれます。



▶日本最大の学術都市！

つくばには国や民間の研究所が300以上もあって、世界中から研究者や留学生が集まる国際的な街なんです。筑波大学は、市内の研究所と連携して臨床研究もたくさん行っています。



▶東京まで45分で行ける！

東京・秋葉原とつくばを結ぶ「つくばエクスプレス」なら、秋葉原まで最短45分という近さ。都会も自然も欲しい！という欲張りさんにはぴったりな街なんです。



▶先端科学の街なのに、緑が多い！

市内には公園が多いし、空気はおいしいし、自然いっぱいなのがつくばの魅力。古い街並みもあって、ほっとできるスポット満載です。実は、映画やテレビのロケ地としてもよく登場してるんですよ。



応募の流れ

※以下は変更になる場合があります。

2月中旬
情報公開

看護部ホームページにて2025年度募集に関する情報を公開します。

3月中旬
受付開始

看護部ホームページでエントリーの受付を開始します。
*エントリーは定員になり次第、締め切りとなります。
*エントリー後、速やかに必要書類を提出してください。
〔担当より採用面接の日程について連絡があります。〕

4月～
採用面接

4月から採用面接を開始する予定です。
採用面接日程に関しては、適宜看護部ホームページでご確認ください。
*状況により、二次募集を行うことがあります。

1ヶ月後
内定通知

採用面接から約1ヶ月後に、合否通知がメールで届きます。

12月～1月頃
書類提出

内定者に書類が送付されます。
書類を受け取ったら、速やかに記入して返送してください。

詳細と最新情報は随時看護部ホームページ「新卒採用募集要項」にてお知らせします。



病院説明会・見学会／インターンシップ

■病院説明会・見学会



筑波大学附属病院の紹介と看護部の概要についての説明会です。先輩看護師をゲストに迎え、質問コーナーや交流会、ショートMovieでの病棟雰囲気紹介などを企画しています。スタッフの雰囲気、病棟の雰囲気をお伝えできればと思っています。

※オンラインによる病院説明会、対面方式による病院見学会を実施します。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

詳細は随時看護部ホームページ「病院説明会・見学会」にてお知らせします。



■インターンシップ



看護部長からのメッセージ、新人教育についての説明、病院・看護師宿舎見学などを行います。実際に看護業務を体験することで、入職後のイメージをつかむことができる機会となっています。

詳細は随時看護部ホームページ「インターンシップ」にてお知らせします。



問い合わせ先・QRコード

筑波大学附属病院看護部 総務課看護部係(看護部事務室)

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

問い合わせ:TEL:029-853-3803/3823 FAX:029-853-2940

e-mail:hsp.kango@un.tsukuba.ac.jp

(月～金 9:00～17:00 ※土日祝日を除く)

筑波大学附属病院看護部
ホームページ

